



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場会社名 株式会社ドリームインキュベータ 上場取引所 東  
 コード番号 4310 URL http://www.dreamincubator.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)堀 紘一  
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理グループ長 (氏名)小山 智士 (TEL)03(5532)3200  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,853	16.2	687	—	703	—	448	—
28年3月期第2四半期	5,899	8.8	△479	—	△460	—	△566	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 315百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △797百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	45.41	44.41
28年3月期第2四半期	△58.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	17,247	11,461	60.0
28年3月期	16,134	11,245	63.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 10,353百万円 28年3月期 10,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	0.00	0.00	0.00	12.00	12.00
29年3月期	0.00	0.00			
29年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの営業投資セグメントについては売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただいております。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期2Q	10,206,600株	28年3月期	10,180,600株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	316,602株	28年3月期	319,183株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期2Q	9,880,894株	28年3月期2Q	9,751,895株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入しております。BIP信託口及びESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
(4) 生産、受注及び販売の実績	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は6,853百万円（前年同期比16.2%増）、経常利益は703百万円（前年同四半期は経常損失460百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は448百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失566百万円）となりました。

前連結会計年度より、事業区分の名称を「コンサルティング事業」と「インキュベーション事業」に変更しております。後者は営業投資セグメント、保険セグメント及びその他セグメントにより構成されております。なお、事業名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

また、前連結会計年度においてアセットリクイデーションセグメントを構成する株式会社リバリュースは売却し、知的財産権セグメントを構成する日本知財ファンド1号投資事業有限責任組合は清算が終了したため、第1四半期連結会計期間より当該セグメントを廃止しております。詳細は、添付資料14ページ「(セグメント情報等)【セグメント情報】Ⅰ及びⅡ」をご参照ください。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

#### (コンサルティング事業)

コンサルティング事業では、大企業や政府向けの戦略コンサルティングに加え、構想の実現に向けた仲間作り、ルール作り、社内外ドライブまでハンズオンで支援するプロデュース支援、M&Aのファイナンシャル・アドバイザリー、経営幹部育成支援を提供しております。

コンサルティング事業（セグメント）においては、前連結会計年度に引き続き、既存顧客である大企業からの継続的な受注に加え、長期的支援を実施する実行支援型プロジェクトの増加、海外企業からの新規受注により、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,578百万円（前年同四半期は1,013百万円）、セグメント利益（営業利益）は923百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）412百万円）となり、過去最高を更新いたしました。

#### (インキュベーション事業)

インキュベーション事業は、営業投資セグメント、保険セグメント、その他の各セグメントにより構成されております。

営業投資セグメントにおいては、新規投資活動として、シリコンバレーにおける提携先ベンチャーキャピタルとの共同投資育成案件を中心とした投資実行を行いました。また、既存投資先ベンチャーに関しては、当社が深く支援することで成長加速が見込まれるステージにおいて資金と人材を投入し、それ以降は売却を進めております。当第2四半期連結累計期間において、新たにIPOした投資先はありませんが、上場投資先の株式に対する追加投資及び売却を実施しております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は479百万円（前年同期は48百万円）、セグメント利益（営業利益）は243百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）596百万円）となりました。

保険セグメントとは、連結子会社であるアイペット損害保険株式会社が運営するペット向け医療保険を指します。当第2四半期連結累計期間において、ペット向け医療保険の加入件数は順調に増加し、売上は順調に拡大しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,762百万円（前年同四半期は3,793百万円）、セグメント利益（営業利益）は140百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）20百万円）となりました。

その他セグメントには、アジア各国におけるマーケティングセグメント及びコンテンツマネジメントセグメントが含まれており、当第2四半期連結累計期間の売上高は32百万円（前年同期は8百万円）、セグメント損失（営業損失）は31百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）56百万円）となりました。

以上の当社及び当社グループの売上をまとめると以下のとおりです。

区分	第16期 第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		第17期 第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンサルティング事業	1,013	17.2	1,578	23.0
インキュベーション事業	4,885	82.8	5,274	77.0
(内訳)				
営業投資セグメント	48	0.8	479	7.0
保険セグメント	3,793	64.3	4,762	69.5
アセットリクイデーションセグメント	284	4.8	-	-
知的財産権セグメント	751	12.7	-	-
その他セグメント	8	0.1	32	0.5
合計	5,899	100.0	6,853	100.0

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期末における資産は17,247百万円(前期末比1,112百万円増)、負債は5,785百万円(同896百万円増)、純資産は11,461百万円(同216百万円増)となっております。

前連結会計年度末比での資産の増加の主な理由は、収益の拡大等による現金及び預金が増加したことなどが挙げられます。

負債増加の主な理由は、保険業法に基づく保険契約準備金の計上及び、収益の拡大等により未払法人税が増加したためであります。

純資産増加の主な理由は、当第2四半期連結累計期間において四半期純利益を計上したためであります。

### ②連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結会計期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して725百万円増加し、5,948百万円となりました。これを活動別に記載しますと、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、864百万円の増加になりました。これは主に、コンサルティング事業及びインキュベーション事業に係る収入の増加であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、436百万円の減少になりました。これは主に、無形固定資産の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、372百万円の増加になりました。これは主に、長期借入れによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

コンサルティング事業は、既存顧客への戦略コンサルティングやプロデュース支援に引き続き注力しつつ、海外事業展開を加速することで、前連結会計年度に対して15%程度の売上高成長率を見込んでおります。

インキュベーション事業の保険セグメントは、前連結会計年度に対して継続成長を見込んでおります。また、連結子会社であるアイペット損害保険株式会社に関しましては、上場に向けた準備を進めております。その他セグメントにおいて、アジア各国におけるマーケティングセグメントについては、引き続き事業拡大に伴う先行的費用が発生することを見込んでおります。

営業投資セグメントにつきましては、投資先ベンチャーの内、IPO準備中の会社が複数社ございますが、売上高が株式の売却によってもたらされ、株式市況やIPO動向に伴い振幅します。そのため、通期業績の見通しは立てにくく、四半期毎に売上高が増減する状況が続くと考えております。

なお、営業投資セグメントを除くその他の各セグメントについては、当第2四半期連結会計期間末現在、概ね予定通り推移しております。

## (4) 生産、受注及び販売の実績

## ①生産実績

当社は生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

## ②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績は次のとおりであります。

なお、営業投資セグメントにつきましては、受注という概念がございませんので記載しておりません。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前年同四半期比 (%)
	金額(百万円)	金額(百万円)	
コンサルティング事業	1,340	2,435	81.6
インキュベーション事業	4,845	4,795	△1.0
(内訳)			
保険セグメント	3,793	4,762	25.6
アセットリクイデーションセグメント	292	-	-
知的財産権セグメント	751	-	-
その他セグメント	8	32	294.1
合計	6,186	7,230	16.9

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
コンサルティング事業	1,578	55.8
インキュベーション事業	5,274	8.0
(内訳)		
営業投資セグメント	479	885.8
保険セグメント	4,762	25.6
その他セグメント	32	294.1
合計	6,853	16.2

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ④投資実績

証券種類	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)				当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)			
	投資実行高		期末投資残高		投資実行高		期末投資残高	
	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)
株式・出資金等	1,843	10	4,673	39	405	8	4,954	42
新株予約権等	—	2	0	18	—	1	0	19
合計	1,843	12	4,673	48	405	9	4,954	52

- (注) 1 新株予約権等は、当社コンサルティングサービスの対価として発行会社から無償で取得している場合がありますが、上表においては、その際の金額をゼロとし会社数のみを記載しております。
- 2 株式、新株予約権等を重複して投資を行っている会社があります。
- 3 時価のあるものについては、取得原価を記載しております。
- 4 上表には余剰資金の運用目的の有価証券及び投資有価証券は含まれておりません。
- 5 当社グループは、未公開時点では投資をしていなかったPost-IPO企業の株式をIPO後に取得する場合がありますが、上表には当該投資金額及び会社数は含まれておりません。
- 6 期末において保有している新株予約権等を全て行使した場合の株式取得価額の総額は、以下のとおりであります。

前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
678百万円	678百万円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,286	8,091
受取手形及び売掛金	1,985	1,872
営業投資有価証券	4,588	4,740
投資損失引当金	△20	△20
有価証券	21	20
たな卸資産	13	15
繰延税金資産	490	518
未収入金	46	46
その他	452	425
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	14,858	15,704
固定資産		
有形固定資産	130	168
無形固定資産		
のれん	574	518
その他	99	261
無形固定資産合計	674	779
投資その他の資産		
投資有価証券	113	184
長期貸付金	133	132
その他	306	359
貸倒引当金	△83	△82
投資その他の資産合計	470	594
固定資産合計	1,275	1,542
資産合計	16,134	17,247

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	-	100
リース債務	1	1
未払金	429	322
保険契約準備金	3,640	4,085
支払備金	470	609
責任準備金	3,169	3,476
未払法人税等	22	296
賞与引当金	144	165
役員賞与引当金	10	5
その他	568	333
流動負債合計	4,817	5,311
固定負債		
長期借入金	-	375
リース債務	0	0
繰延税金負債	2	1
株式給付引当金	67	97
その他	0	0
固定負債合計	71	474
負債合計	4,889	5,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,884	4,898
資本剰余金	3,743	3,757
利益剰余金	2,310	2,636
自己株式	△495	△491
株主資本合計	10,443	10,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△174	△334
為替換算調整勘定	△74	△113
その他の包括利益累計額合計	△249	△447
新株予約権	99	91
非支配株主持分	951	1,016
純資産合計	11,245	11,461
負債純資産合計	16,134	17,247

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	5,899	6,853
売上原価	3,634	3,032
売上総利益	2,264	3,820
販売費及び一般管理費	2,744	3,133
営業利益又は営業損失(△)	△479	687
営業外収益		
受取利息	5	11
為替差益	9	-
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	3	18
営業外収益合計	20	30
営業外費用		
支払利息	1	3
為替差損	-	4
敷金解約損	-	6
その他	0	0
営業外費用合計	1	14
経常利益又は経常損失(△)	△460	703
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△460	703
法人税、住民税及び事業税	65	237
法人税等調整額	△171	△50
法人税等合計	△106	186
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△354	516
非支配株主に帰属する四半期純利益	212	68
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△566	448

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△354	516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△419	△161
為替換算調整勘定	△24	△40
その他の包括利益合計	△443	△201
四半期包括利益	△797	315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,009	249
非支配株主に係る四半期包括利益	211	65

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△460	703
減価償却費	47	35
のれん償却額	76	56
支払備金の増減額(△は減少)	68	138
責任準備金の増減額(△は減少)	434	306
賞与引当金の増減額(△は減少)	22	21
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△21	△4
株式給付引当金の増減額(△は減少)	20	29
株式報酬費用	5	-
為替差損益(△は益)	△9	36
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△233	△291
売上債権の増減額(△は増加)	△200	106
たな卸資産の増減額(△は増加)	328	△2
未収入金の増減額(△は増加)	836	△14
仕入債務の増減額(△は減少)	△6	△0
未払金の増減額(△は減少)	△66	△116
その他	△141	△370
小計	699	634
利息及び配当金の受取額	6	11
利息の支払額	△1	△3
法人税等の還付額	-	241
法人税等の支払額	△472	△19
営業活動によるキャッシュ・フロー	231	864
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,989	△2,042
定期預金の払戻による収入	1,988	1,961
有形固定資産の取得による支出	△17	△51
無形固定資産の取得による支出	△24	△174
敷金及び保証金の差入による支出	△21	△70
貸付けによる支出	△1	-
貸付金の回収による収入	147	2
その他	△11	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	68	△436
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	20	19
長期借入れによる収入	-	500
長期借入金の返済による支出	-	△25
配当金の支払額	△288	△121
投資事業組合等における非支配株主への分 配金支払額	△325	-
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△594	372

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△74
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△290	725
現金及び現金同等物の期首残高	4,387	5,222
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△84	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,011	5,948

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月12日 取締役会	普通株式	291	29	平成27年3月31日	平成27年6月12日	利益剰余金

(注) 平成27年5月12日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金9百万円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月10日 取締役会	普通株式	122	12	平成28年3月31日	平成28年6月14日	利益剰余金

(注) 平成28年5月10日取締役会決議による配当金の総額には、信託が保有する自社の株式に対する配当金3百万円が含まれております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	コンサル テイング セグメント	営業投資 セグメント	保険 セグメント	アセット リクイデー ション セグメント	知的財産権 セグメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,013	48	3,793	284	751	5,890	8	5,899	—	5,899
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,013	48	3,793	284	751	5,890	8	5,899	—	5,899
セグメント利益又は損失 (△)	412	△596	20	△64	385	158	△56	102	△581	△479

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△581百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に関する費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	コンサル テイング セグメント	営業投資 セグメント	保険 セグメント	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,578	479	4,762	6,820	32	6,853	—	6,853
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,578	479	4,762	6,820	32	6,853	—	6,853
セグメント利益又は損失 (△)	923	243	140	1,307	△31	1,275	△588	687

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△588百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に関する費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、「アセットリクイデーションセグメント」を構成しておりました株式会社リバリューの全株式を前連結会計年度に売却し、「知的財産権セグメント」を構成しておりました日本知財ファンド1号投資事業有限責任組合は清算が終了いたしました。この結果、第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントは、「コンサルティングセグメント」、「営業投資セグメント」及び「保険セグメント」となりました。